

事業番号	07 01 01	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	産業振興のための商工業企画調査・応援事業	部局	産業労働部	課・室	産業政策課	
		実施期間	S31 ~	E-mail	sansei @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

- ・「稼ぐ力」を示す労働生産性を全国平均と比較すると、近年その差は縮小傾向であるが低い水準（R元度は全国比92.6%）（令和元年度長野県県民経済計算）
- ・県内産業の振興に向けて、効果的な施策の検討や競争力強化の取組等が必要

2 事業目的

外部有識者の意見を取り入れて県内産業の振興施策を検討するとともに、登録制度等による企業の価値向上や「しあわせバイ信州運動」による地域内消費の拡大、支援機関の体制整備による県内産業の活性化等を通じて競争力を強化する。

3 事業目的を達成するための取組

- ①県内産業の振興に向けた企画調査**
- ・中小企業の振興に関する重要事項について調査審議を行い、産業労働行政に反映させるため、中小企業振興審議会を開催
 - ・県内企業の水素利活用を促進するため、県内企業の水素利活用ポテンシャルの定量分析を実施
- ②優れた取組を行っている企業を応援**
- ・県内のものづくり産業の優れた技術・製品を「NAGANOものづくりエクセレンス」として認定し、優先的な支援を実施
 - ・SDGsを意識した経営を県内企業等に浸透させるため、「長野県SDGs推進企業登録制度」の運用等を実施
- ③地域内消費の拡大**
- ・「デジタル地域通貨」の導入・拡充に向けた有識者・市町村等との情報交換会を開催
 - ・県産品や地域のお店を選ぶ意識の醸成、行動変容を促す「しあわせバイ信州運動」を展開
- ④公益財団法人長野県産業振興機構の運営経費を補助**
- ・県の産業振興施策実施機関の体制整備等を行うため、運営に係る経費を補助

4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
②	長野県SDGs推進企業登録制度 新規登録数	者	493	407	↘	265	↘	100	達成	2030年までに3,000者を目標として設定。R6年度末2,494者の登録があり、達成までの約500者を年数で按分した場合1年あたり100者とする。	
③	「しあわせバイ信州パートナー」登録数（累計）	件	-	652	-	1,408	↗	2,500	未達成	しあわせバイ信州運動を共に進めていく事業者等を増やすため、一般消費者に近い小売店等から重点的にアプローチし、2,500件を目標とする。	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (☆印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年/ 年度	数値	年/ 年度	数値	年/ 年度	数値	年/ 年度	数値
2-2②	地域内経済循環の推進	エシカル消費につながる行動のうち、地産地消を実践している割合	%	2022 (R4)	46.5	2023 (R5)	50.1	2024 (R6)	48.4	2027 (R9)	50

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	0	250,079	0	250,079	242,344	242,951	5.0
R5年度	0	213,739	△ 4,000	209,739	202,004	206,709	5.0
R4年度	0	213,357	0	213,357	205,622	211,980	5.0

事業番号	07 01 01	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	産業振興のための商工業企画調査・応援事業		部局	産業労働部	課・室	産業政策課

7 主な取組実績と成果

①県内産業の振興に向けた企画調査

中小企業振興審議会を2回開催し、第1回では、中小企業振興施策の実施状況や人口減少下における中小企業の生産性向上について、第2回では、中小企業に対する県の産業労働施策の効果的な情報発信方法について協議を行った。

また、県内企業の水素利活用ポテンシャルの定量分析を実施し、現在は利用がほぼ無い水素エネルギーについて、県内産業の消費エネルギーの約3割もの潜在的需要が存在することが判明した。

②優れた取組を行っている企業を応援

・長野県が誇る高度な技術や革新的・独創的な製品を認定する「NAGANO ものづくりエクセレンス」に新たに7件の技術・製品を認定した。

・長野県SDGs認定企業推進制度に新たに265者を登録した。

③地域内消費の拡大

・地域が抱える課題の共有や先進事例を参考とした新たな視点でのデジタル地域通貨活用の可能性を探るため、市町村や商工団体等を対象に情報交換会を実施した。

・「しあわせバイ信州運動」を推進するため、キックオフイベントを皮切りに、専用ウェブサイトの開設、テレビCM等メディアタイアップ、各種イベントにおけるPR活動やパートナー事業者との集中キャンペーン活動等による情報発信を行ったほか、小中学生を対象にした出前講座、中高生動画コンテストによる次世代育成事業を実施した。

④公益財団法人長野県産業振興機構の運営経費を補助

技術革新による地域産業の高度化と産業創出を促進するとともに、県内企業の経営革新及び経営基盤の強化等を支援する長野県産業振興機構の本部事務局体制の整備のため、基幹的な業務を担う職員の給与費や管理費への補助を行った。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標	② 長野県SDGs推進企業登録制度 新規登録数	R5年度推移	↓	R6年度推移	↓	達成状況	達成
新規申請者数は265者と、前年比では減少したものの目標は達成。取組内容や機運の変化に関するアンケートを実施し、登録企業のSDGsの具体的な取組活動への促進も実施した。							
指標	③ 「しあわせバイ信州パートナー」登録数（累計）	R5年度推移	-	R6年度推移	↑	達成状況	未達成
メディアタイアップや統一キャンペーンによるPR活動等により、前年度比で登録数は増加したが、認知度が十分でないことから目標達成とならなかった。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・SDGsの2030年までの達成に向けて、引き続き、各企業等における取組の実効性をより高めていく必要がある。
- ・長野県産業振興機構の運営については、より効果的な支援とするため、支援活用事例の積極的な周知を長野県産業振興機構に継続的に実施いただく必要がある。
- ・中小企業振興審議会においては一方的な情報提供ではなく、PDCAを意識した活動を継続的に行う必要がある。
- ・デジタル地域通貨の導入・拡充に向けて、自治体・団体間で情報交換をする場の設置が引き続き必要である。しあわせバイ信州運動を共に取組を進めるパートナーの登録数が1,408にとどまり、本運動の認知度向上が課題。

(2) 事業改善の方策

- ・県内産業の振興に向けた企画調査については、中小企業振興審議会にて引き続き重要性・緊急性の高い議題を扱うとともに、過去の審議会で出された意見等への検討・対応状況の報告を徹底するよう努める。
- ・優れた取組を行っている企業に対する応援・支援については、「NAGANOものづくりエクセレンス」及び「長野県SDGs推進企業登録制度」の取組を継続する。
- ・産業振興機構の運営については、支援事例集の記載を工夫するなど連携の見える化を図って成功事例の情報発信を行い、支援機関の更なる活用推進、連携促進を図っていく。
- ・地域内消費の拡大については、より有効で持続可能なデジタル地域通貨システムの構築に向けた有識者・市町村等との情報交換会を開催するとともに、県民の意識醸成と行動変容を促しあわせバイ信州運動に係る情報発信等の取組を強化することで、パートナー登録数拡大を図る。

事業名	産業振興のための商工業企画調査・応援事業	部局	産業労働部	課・室	産業政策課
-----	-----------------------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	商工業企画調査事業費	2,226 千円	2,272 千円	2,341 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	中小企業振興審議会開催事業	直接	「長野県産業振興プラン」や「長野県中小企業振興条例」の進捗管理及び施策の企画立案を行うため、中小企業振興審議会を開催 審議会開催回数 2回	

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
2	県内企業水素利活用促進事業費	- 千円	- 千円	17,490 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	県内企業水素利活用ポテンシャル委託調査事業	委託	県内企業の水素利活用を促進するため、水素利活用ポテンシャルとカーボン排出量の削減効果に係る調査・分析を実施 県内産業の水素利活用ポテンシャルを把握	

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
3	ものづくり企業応援事業費	504 千円	537 千円	531 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	ものづくり企業応援事業	直接委託	県内のものづくり産業の優れた技術・製品を「NAGANOものづくりエクセレンス」として認定し、優先的な支援を実施 認定式の開催及びパンフレット配布によるPR（パンフレット発行部数2,000部）	

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
4	SDGs推進企業支援事業費	9,551 千円	10,384 千円	9,486 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	SDGs推進企業支援事業	委託	<ul style="list-style-type: none"> SDGsを意識した経営を県内企業に浸透させるため、SDGs推進企業登録制度への登録 希望者向けのサポート事務局を運営・登録企業のSDGsの取組を後押しするため、他社の先進的な事例を知る機会（セミナー）を創出。 ・累計登録企業数：2,494社、セミナー参加者数：対面で8名参加、オンラインで47名参加	
2	SDGsポータルサイト管理運営事業	委託	専用ポータルサイトの運営を通じた登録制度及び登録企業のPR 企業のSDGsの取り組み紹介ができる機能を実装	

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
5	産業振興機構運営費補助金		194,308 千円	185,359 千円	190,231 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	産業振興機構運営費補助金	補助金	産業振興機構職員の給与費、管理費等への補助 130名体制の機構の運営を支援し、相談から販路開拓までの一気通貫の対応を実施		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
6	地域内消費促進事業費		- 千円	8,157 千円	22,872 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	デジタル地域通貨研究事業費	直接	・デジタル地域通貨情報交換会の開催 情報交換会実施回数2回		
2	「しあわせバイ信州運動」推進事業	委託	<ul style="list-style-type: none"> ・しあわせバイ信州運動キックオフイベントの開催 ・専用ウェブサイトの開設 ・テレビCMやラジオ等メディアタイアップによる広報活動 ・全県統一キャンペーンの実施（イベントでのPR活動、パートナー事業者とのプロモーション活動等） ・しあわせバイ信州運動共創ネットワークの開催 ・次世代育成事業の実施（小中学生出前講座、中高生動画コンテスト） CM260本、ラジオ4本、出前講座5校、共創ネットワーク2回、キャンペーン実施2回		